

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 セファゾリン低感受性 MSSA (CzIE) の疫学・病態解明及び新規検査法の構築』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院

研究責任者 臨床検査部 職位・氏名 准教授 吉澤 定子

【試料・情報の利用目的】

メチシリン感性黄色ブドウ球菌(MSSA)感染症は、敗血症や肺炎などの様々な重症感染症を引き起こしますが、本菌に対して有効なセファゾリン(CEZ)等の抗菌薬による治療にもかかわらず、予後不良となることがあります。近年、MSSA の中に、菌量が多い場合に CEZ が耐性化を示す株(CzIE)の存在が明らかとなっており、CEZ 治療に抵抗性を示す可能性が示唆されています。菌血症における分離頻度は海外では 10-55%とされますが、日本における現状は明らかではありません。本研究では、多機関共同研究により血液培養における CzIE の分離状況と臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。さらに、CzIE のスクリーニングに有効な検査法を構築することを試みます。新規検査法で CzIE 株を早期に検出し、最適な抗菌薬療法について探索することが可能となることで、MSSA 感染症患者の予後改善に大きく貢献することが期待できます。

【研究に用いられる試料・情報および研究方法】

本研究は、倫理委員会承認後～2028年10月31日までを全研究期間とし、東邦大学医療センター大森病院、東北大学病院、東京大学病院、富山大学病院からなる多機関共同研究です。

2022年1月1日～2024年12月31日の3年間に血液培養から分離されたMSSA菌株を収集し、CzIEを検出します。さらに、CzIEを早期に発見する検査法について確立を試みます。また、CzIE株とそれ以外のMSSAによる菌血症を呈した症例について、診療録調査により臨床的背景(年齢、性別など)・臨床経過・予後を比較します。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【他機関への提供】

本研究は他機関からの試料・情報の提供は受けませんが、当機関から他機関への提供は行いません。

【試料・情報の管理を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医学部 医学部長 池田隆徳

【試料・情報の取得方法】

対象者:2022年1月～2024年12月までに東邦大学医療センター大森病院において、血液培養よりMSSAが検出された方

収集した試料・情報は解析のため東邦大学医学部微生物・感染症学講座で保存します。菌株は微生物・感染症学講座において-80℃で凍結保存します。臨床情報は対照表を用いて管

理し、個人は特定できない形でパスワード付きの USB など管理を行い、個人情報の流出のないよう最大限配慮します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医学部 臨床検査医学講座/ 微生物・感染症学講座

研究代表者：吉澤 定子 役職：准教授

共同研究者：

- 東邦大学医療センター大森病院 助教 佐藤高広
- 東邦大学医学部 准教授 原田壮平
- 東邦大学医学部 助教 青木弘太郎
- 東邦大学医学部 助教 山田景士
- 東邦大学医療センター大森病院 臨床検査技師 今井和花

共同研究施設名、共同研究者：

- 東京大学 教授 堤 武也
- 東北大学 教授 青柳哲史
- 富山大学 教授 森永芳智

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医学部 臨床検査医学講座/ 微生物・感染症学講座 吉澤 定子

東北大学大学院医学系研究科感染病態学分野 総合感染症学分野 青柳哲史

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年3月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医学部 臨床検査医学講座/ 微生物・感染症学講座

職位・氏名 准教授 吉澤 定子

電話 03-3762-4151